

カメラ、飛行機、スーツケース、地球儀のイラストが背景にある。中央には「ブレットさんの」という大きな文字があり、その下に「いんたーなしょなる」という文字と「Volume:26」という数字が緑色のバブルに入っている。さらに「国際コーナー」という大きな文字が下部にあり、その左側にはブレットさんの顔の小さな写真が載っている。

ブレットさんの いんたーなしょなる 国際コーナー

My Easter Celebration

子供のころ、よくメルボルンでイースターを祝っていました。メルボルンにいる母方の家族はギリシャ・オーストラリア人で私たちは普通のオーストラリア人と少し違うイースターの祝いがありました。ギリシャ語が話せなかったし、あまり宗教的では



正教で三位一体を象徴するパン「ツォウレキ」

なかったけど、正教の伝統的な祝いをしていました。ギリシャのイースターではゆで卵を赤く染めて、いろんなイースター祝いに使われています。本来、染料は玉ねぎの皮で作られています。染めた卵は飾り物にされ、「ツォウレキ」(三つ編みのパン)に焼かれ、「ツェグリスマ」というキリストの復活を意味するゲームに使われています。



キリストの復活を意味するゲーム「ツェグリスマ」

ツェグリスマの遊び方は、各プレーヤーが卵を持ち、卵の端を相手の卵の端に軽くぶつけます。両方の端が割れるまで順番に続きます。2人ずつで行われて、最後に卵の端が割れていない人の勝ちとなり、その年は幸運に恵まれると言われています。ゲームのあと、全部の卵は皮をむいて切り、塩と酢で前菜として出されています。

イースターじゃなくても、皆さんもぜひ一度卵割るゲームをやってみてください！

※ブレットさんの原文をほぼそのまま掲載しています。



小坂町地域おこし協力隊

協力隊コラム

熊澤 圭祐さんの 一粒の実になって

今月から熊澤さんの活動の様子などをお伝えするコーナーがスタート！小坂町を一房のぶどうに例え、自身がその一粒の実になってワイン事業の発展のために活動をしていきたいという想いを込めたコラムタイトルになっています。

2022年4月に神奈川県藤沢市から小坂町地域おこし協力隊に着任し、隊員の任期最後の年となる3年目を迎えました。普段は道の駅こさか七滝の近くにある、小坂七滝ワイナリーでワイン造りに従事したり、ワイナリー裏のぶどう畑で原料となるぶどうを栽培したりしています。着任して2年が経ち、自分では作業する姿も様になってきたと思いますが、ワイン造りもぶどう栽培も1年に1回しか経験できないので、これからさらに経験を積んで美味しいワインを造ることが目標です。

先月は瓶詰め作業がピークでした。1日中作業を続けて約1,500本のワインを瓶詰めすることが出来ます。そこからボトルの口に付けるキャップやラベル貼りは全て手作業のため、空いた時間にどんどん進めていきます。例年1月から4月のあいだは前年仕込んだワインの瓶詰め作業がメインになります。

このような感じで、毎月活動の様子をお伝えできたらと思います。

これからもどうぞよろしくお願ひします。

